

主題 「ごはんのにおい」 4 - (2)

対象：小学校低学年

主題設定の背景

現代の子どもは、家庭においても、学校においても、出される食事を当たり前のように食べている。特に家庭においては、低学年の子どもの場合、家族そろって一緒に食べる機会が多い。しかし、仕事の都合などにより家族全員がそろうことが少なく、自分一人だけで食べる、インスタント食品や市販の弁当を頻繁に食べるというような実態もある。家族一緒にそろって食事ができる幸せや、心がこもった手作りの食事を食べることができる喜びについて考えさせることは、家族のありがたさに気付かせるとともに、家族の一員として自分に何か役に立ちたいと考えるきっかけにもなる。

資料とその取り扱い 資料「におい」(こころをつないで1 教育出版)

家庭には、いろいろなにおいがあり、その中には、心地よく温もりがあるにおいがある。資料にある、おみそしるやカレーのにおいが言っている言葉について考えさせることにより、それらが実は家族の思いであり、料理には家族の気持ちが込められていることを理解させる。また、食事を家族そろって一緒に食べることができる幸せについて触れ、家庭からその幸せなにおいが消えないように、自分にどのようなことができるかを考えさせたい。

ねらい

自分の家の心地よいにおいについて考えさせることにより、家族で食事を味わえる喜びや安らぎに気付かせるとともに、家族を大切にしようとする心情を養う。

	活動の内容	主な発問と期待される児童の反応	指導上の留意点
導	1 家庭のにおいについて話し合う。	みんなの家ではどんなにおいがしますか。 ・線香のにおい ・ペットのにおい ・たばこのにおい ・トイレのにおい ・食べ物のにおい ・お風呂のにおい	・自分の家のにおいについて考えさせることにより、家の様子を思い出させる。
入	2 家庭でするにおいの中で好きなにおいについて話し合う。	みんなは、自分の家の中のにおいで、どんなにおいが好きですか。 ・ごはんが炊けるときのにおい ・カレーライスのおい ・焼き肉のおい	・家の中のにおいの中で、食べ物のにおいが心地よいことに共感させる。
展	3 資料「におい」を読んで話し合う。 4 おみそしるのにおいについて考える。	おみそしるのにおいは、どんなことを言っているでしょう。 ・おはよう ・今日も一日がんばってね ・栄養があるよ ・たくさん食べて大きくなってね ・友達と仲良くしてね	・拡大した資料を黒板に掲示し、教師がゆっくりと読む。 ・おみそしるやカレーのにおいが言っている言葉を考えさせることを通して、家族からの温かい言葉を出させる。
開	5 カレーのにおいについて考える。	カレーのにおいは、どんなことを言っているでしょう。 ・おいしくできたかな ・学校でのことをお話ししてね	・資料中の会話を取り上げ、それを参考に自由に発言させる。

展 開	6 おみそしるやカレーの言葉は、だれが言っている言葉か考える。	おみそしるやカレーが言っている言葉は、だれが言っているのでしょうか。 ・お母さん ・お父さん ・おばあちゃん ・家族	・おみそしるやカレーの言葉をだれが言っているのか考えさせることにより、料理に込められた気持ちについて触れさせる。
	7 家からおいが消えたときのことについて考える。	家からおいが消えるときとは、どんなときですか。 ・お母さんが病気になったとき ・妹が入院したとき	・どのようなときに家庭からおいが消えるが想像させる。
終 末	8 家から幸せなおいが消えないために自分に何ができるか考える。	家から幸せなおいが消えないために、みんなはどんなことをしたらいいでしょう。 ・食事のときは、お手伝いをしよう ・できるだけ一緒に食べよう	・おいが消えたときのことを考えさせることにより、家族と一緒に食べる幸せについて考えさせる。 ・自分にできることを具体的に考えさせることにより、価値の内面化を図る。 ・食に視点を当てて考えさせるようにする。
	9 教師の話聞く。		・家から幸せなおいが消えたときの教師の体験について話をし、余韻を残して授業を終わる。
備 考	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭を扱う授業であるので、子ども一人一人の家庭の実態については、十分把握した上で授業を実践するようにする。 ・授業後、日記や家庭連絡を通して子どもの変容を見取り、その様子を子どもに紹介することで、自分も家族のために何か進んでしてみようという意欲を高める。 		